

寮について

寮費

- 月額 4万5千円
- 朝食・夕食付き（日曜のみ除く）
- 昼食は学校給食（月額6千円）

夏季休暇（盆休み）、年末年始などには閉寮期間を設ける場合があります。

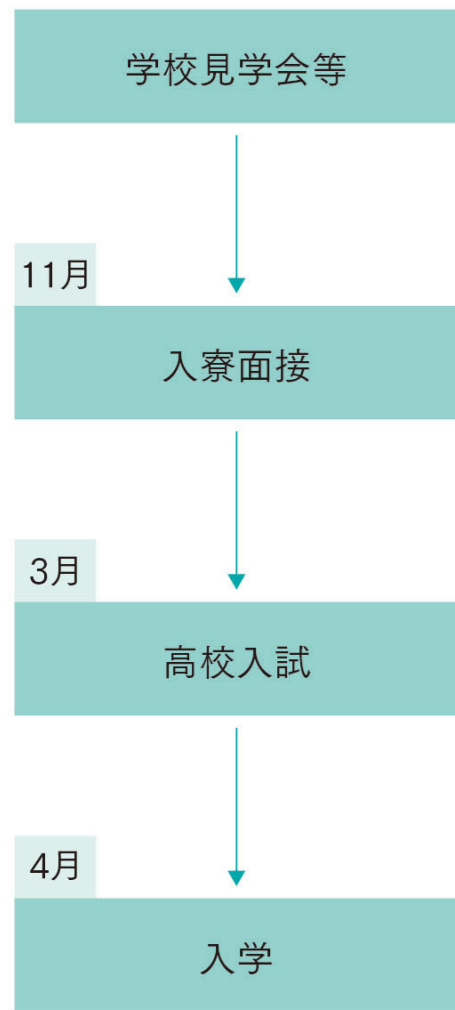
寮の食事

寮の食事は、生徒も献立を考案しています。また、栄養士が生徒の体調面などを考慮した上でその献立を検討し、提供を行っています。

お米 お米は「嶺親の会」や嶺北地域の方々に提供いただいています。また、田植えや稲刈りの時期には、「嶺親の会」の方の田んぼへお手伝いに行っています。



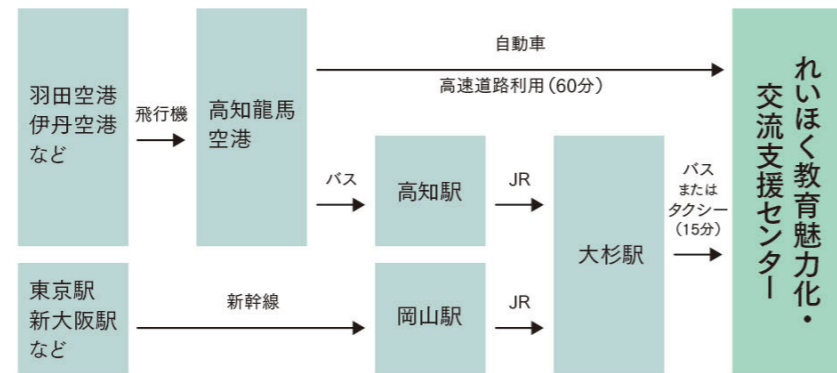
嶺北高校入学までの流れ



入寮面接と高校入試は別途の実施となります。入寮面接を受け、入寮許可となった方へは、順次高校入試出願に向けたご案内を行って参ります。詳しくは下記へお問い合わせください。

アクセス

バスや飛行機でのアクセス方法



近隣マップ



2025年度 入学者対象

れいほく教育魅力化・交流支援センター

公営寮 嶺北研修交流学舎

公営塾 燈心嶺



主体的な自己実現を目指す学びの場

無料公営塾 燈心嶺

燈心嶺は、嶺北高校生専用の無料公営塾です。燈心嶺では、基礎教科学習のサポートや、受験指導をはじめ、生徒自らが、主体的に学びへ向き合う姿勢を醸成します。文系理系それぞれの講師が、生徒一人ひとりの思いを大切に、生徒同士の主体的な対話から、多様な学びのカタチを引き出します。

わたしを知る、セカイを知る。

主体的な学びには、それぞれが「わたしの思い」を認識し、育むことが大切です。燈心嶺では、教科学習はもちろんのこと、月一回程度の個別相談、様々なゲストを招いてのキャリアイベントなど、生徒一人ひとりの興味関心に寄り添い、育む時間を提供しています。

わたしの興味が、つながる、広がる

海外での短期語学留学や国内研修を補助する制度や、県内外の多様な取り組みへの参加や視察、情報通信技術を活用した他地域の公営塾との連携プログラムなど、地域の枠にとらわれない学びを提供しています。



遊びは学び。

ときにひとりじっくりと考える、ときに友達を、周囲の大人を巻き込みながら、自分の「やってみたい」にいつでも挑戦できる。そんなゆとりある環境が嶺北の魅力のひとつです。



新入寮生に聞いてみた!

人生で初めての寮生活から一か月、率直にどうですか?

「毎日楽しい!先輩たちも想像以上にフレンドリーだし、地元生達との関わりも面白くて、毎週末出かけています(男子/兵庫県)」
 「中学校にあまり通えていなかったのが先輩が怖かったけど、よくしてもらっています。高校も楽しい!(女子/福岡県)」
 「生活には割とすぐに馴染めました。ご飯も美味しいしトレーニングも行けるし川遊びもできるので十分です(男子/香川県)」
 「洗濯とかご飯の準備片付けとかが大変で、改めてお母さん凄いなと思いました(女子/京都府)」



高校2年生での留学、違いや良かったことを教えてください。

「元々通信制だったので、余暇時間が多くありました。嶺北高校は普通科なので余暇時間は減りましたが、周囲とのコミュニケーションや自然環境の近さがとても気に入っています(男子/岡山県)」
 「同級生とのコミュニケーションも楽しいけど、色んな大人の人とも気軽に話せるのが面白いです(男子/神奈川県)」

これから嶺北でどんなことに挑戦していきたいですか?

「地域での取り組み等にどんどん参加して、自分の興味があるものを見つけていきたいです(女子/神奈川県)」
 「自信をつけていきたいので、まずは目の前の勉強をがんばります(男子/香川県)」
 「イベントに参加したり、思いついたことは思い切ってやってみます(女子/愛知県)」
 「日本の一次産業を活性化したい!もう少し生活に慣れたら地域の方に畑を借りて実践したいです(男子/静岡県)」

住める塾、学べる寮で、

自分だけの学びの「カタチ」をデザインする。

寮塾一体型複合施設 れいほく教育魅力化・交流支援センター(愛称…とまり木)

みんなでつくる、わたしの暮らし。

公営寮 嶺北研修交流学舎

嶺北研修交流学舎は、寮長を中心に寮生全員で運営されています。生徒一人ひとりが役割を持ち、共同生活を送ることで、協調性や責任感を育みます。また、生活面では栄養バランスを考えた食事を提供する他、生徒の日々の生活の基盤として、よりよい環境を提供してまいります。

「わたし」が寮をつくる

寮といえば、共同生活の場として、さまざまな決まりがあることが一般的です。嶺北高校の寮では、そうした決まりがある中でも、常に生徒間で話し合い、考え、より良いものへと変えていくという気風があります。住む「だけ」じゃない、わたしがつくる学びの場を通じて、「意志ある寮生」が成長できる環境を目指し、日々試行錯誤しています。寮長を中心とした、生活改善のための会議や、歓迎会などの各種イベントやプロジェクトなど、生徒自らが計画を立て、実践しています。

「わたし」に寄り添うハウスマスター

自治的な寮の中であって、その生活を見つめるハウスマスターは、ときにその背中を押し、ときに、良き相談相手となり、生徒一人ひとりの毎日に、しっかりと寄り添います。



地域の全てが学びの舞台。

豊かな自然環境はもちろんのこと、地域の大人たちもまた、生徒にとって強力なサポーターです。嶺北地域の住民で結成された「嶺親の会」は、生徒が気軽に地域の人々に頼れる仕組みを提供しています。地域ならではの行事や、農作業体験など、豊かな学びの機会が嶺北にはあります。



ある高校生の一日

7:00	7:30	8:20	8:40~		16:50	18:30	19:00	21:00	21:30	23:00
朝食	掃除	登校	学	部	夕	塾	洗濯	自由時間	就寝	
			校	活	食					